

## 役場庁舎及び周辺関連施設整備基本構想（案）に係るパブリックコメントの実施結果について

役場庁舎及び周辺関連施設整備基本構想（案）に係るパブリックコメントにおきましては、貴重なご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

いただきましたご意見に対する町の考え方を取りまとめましたので公表いたします。

なお、ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

### 1 募集期間

平成29年1月20日（金）から平成29年2月15日（水）

### 2 募集結果

意見の提出方法	人数	件数
持参	3	6
電子メール	8	56
郵送	3	11
ファクシミリ	5	12
合計	19人	85件

### 3 項目別の意見数

項目	意見数
整備方針（案）について	33
単独案と複合案について	17
駐車場の場所や駐車台数について	7
建物の構造（木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造など）について	11
その他	17
合計	85件

### 4 意見の概要と町の考え方

別紙のとおりです。

意見の概要

項目	No.	意見の概要	町の考え方・対応方針
整備方針 (案) について	1	ユニバーサルデザインの考え方に基づいた整備をお願いします。	誰もが利用しやすい施設として整備を図って参ります。
	2	原案に賛成です。	ご意見として承ります。
	3	<b>政策形成力の強化と公文書管理システムの整備。</b> 政策資料室（議会と共有）、公文書管理（アーカイブス）施設を完備します。	具体的な建物の機能などにつきましては、ご意見等を踏まえ基本構想に反映させるとともに、基本設計において詳細に検討して参ります。
	4	<b>議会図書室の充実。</b> 政策資料室として執行機関と共有します。	
	5	<b>平常業務におけるIT化への対応と文書管理の合理化。</b> 今後とも文書管理システムを合理化します。退庁後文書類を机上に残さないようにキャビネットを配置、IT化の事務機器も合理的に配置します。	
	6	<b>大部屋・大窓方式の解消、流動的な間仕切り方式。</b> 冷暖房・空調の効率化を図るため、天井を低くし、ペアガラス窓の広さも抑えます。組織替えに流動的に対応できるような間仕切りとします。	
	7	<b>快適な執務環境への配慮</b> 真夏の日差しが業務室に直接差し込まないように庇をつけます。更衣・休憩・給湯・給食設備を適正配置します。	
	8	<b>副町長（シティ・マネージャー）制を本格的に導入。</b> 副町長への大幅な権限移譲に合わせて、町長室・副町長席・庁議室等を配置します。	ご意見として承ります。

9	<p><b>行政実務専用棟としてスリム化。</b></p> <p>汎用会議室や町民との交流空間は、極力「議会棟」（町民会館棟）に移して、執務棟の容積はできるだけスリム（二階建て）にします。</p>	
10	<p><b>職員の配置の合理化・高度化。</b></p> <p>窓口での町民接遇は業務に精通した管理職、一般職は後方事務に配置します。（木佐茂男「豊かさを生む地方自治」参照）</p>	
11	<p><b>議会棟は町民会館的な施設に</b></p> <p>議員は私たち町民の代表として活動しているのですから、町民に開かれた施設にしたいと思います。議会が庁舎最上階に鎮座するのは滑稽です。</p>	
12	<p><b>議会棟は執行機関棟と隣接・別棟とし、町民が気楽に立ち寄れる場所に。</b></p> <p>玄関ロビーには、町民作品展・写真展、地域情報コーナー・快適な休憩コーナーなど、町の話題満載、町民の交流サロンにします。</p>	
13	<p><b>委員会室を無くして、執行機関や町民の利用にも開放する複数の小会議室に。</b></p> <p>議会専用空間はできるだけ少なくして、視察者接遇や執行機関の会議・町民の集会にも開放する多目的小会議室とします。</p>	
14	<p><b>議会図書室（政策資料室）を充実し、町職員や町民の利用にも公開。図書館構想との関係も検討課題とします。</b></p>	
15	<p><b>原則として、9時までの夜間利用に開放。</b></p> <p>地域における生活と活動は、仕事が終わってからの時間です。</p>	
16	<p><b>緊急時には災害対策活動拠点に転用。</b></p> <p>緊急事態には災害対策本部を設置します。</p>	

17	<p><b>職員食堂棟の建設</b></p> <p>執務室での食事やお茶の時間はなくします。</p> <p>単独棟か執行機関棟や議会棟との合築か、福社会館レストランとの関係、利用者の範囲など、課題は多いものの、百人以上の職場では給食施設は福利・健康管理・地産地消の推進のためにも必要です。</p>	
18	<p>第1 最初の項目の「幼児」について</p> <p>現在図書館では、乳幼児と保護者・妊婦対象のわらべ唄と絵本の読み聞かせをしています。胎児も一人の人間として大切にし、小さい頃から言葉に親しみ、絵本を楽しむ機会をつくる大切な事業だと思っています。新しい図書館には、授乳室、おやつなどを飲食できるスペース、靴を脱いで絵本を広げられる子供専用の部屋をつくり、赤ちゃんとお母さんたちがまわりの大人に気兼ねせずに、ゆっくり過ごすことができるようにしてほしいと思っています。「幼児」ではなく、「赤ちゃん」若しくは「乳幼児」に変え、すべての町民が図書館サービスを受けられる方針にしてほしいと思います。</p> <p>第6 民間活力との連携について</p> <p>民間活力との連携が、指定管理者として民間企業やNPO法人に図書館運営を委ねることであれば、これまで、町民が町民のためにつくりあげてきた町民図書館を手放すことであり賛成できません。図書館サービスは無料のサービスであり、指定管理者制度にはそぐわないと思います。また、知的財産である図書館資料の選書・廃棄の管理、地域資料収集などの業務を委託して良いのでしょうか。</p>	<p>庁舎をはじめ町民図書館などをどのように整備していくべきかについて、平成23年11月に町民代表及び学識経験者等からなる「三春町公共施設整備方針検討委員会」を設置し調査検討を行い提言いただいた「三春町公共施設整備方針」に基づき、今回、町民図書館のあるべき整備方針をとりまとめたものであります。</p> <p>しかしながら、「三春町民図書館の整備方針」については、多様な意見が出ていることから、引き続きご意見を参考に運営方法なども含めた検討を重ねて参ります。</p> <p>また、議会図書館や公文書館の機能を持たせることについては、ご意見を踏まえ基本設計において検討して参ります。</p>

	<p>※町民図書館の整備だけでなく、文庫・分室のあり方と連携についても方針の中に具体的に入れてほしいと思います。</p>	
19	<p><b>町民の多様な情報ニーズに応える図書館構想</b></p> <p>多様なニーズとして、次のようなことが想定されます。</p> <p>時事情報（新聞・雑誌）を気軽に閲覧。</p> <p>読書（小説等）趣味に応える。</p> <p>職業別情報（農業・商業等）の検索。</p> <p>生活情報（医療・福祉・家事・育児）の検索</p> <p>地域情報（町の歴史・文化・経済）の検索</p> <p>行政情報（町の刊行物等）の検索</p>	
20	<p><b>各世代のニーズに応える図書館構想</b></p> <p>「本離れ」の世相の中で、新しい図書館像を追及しなければなりません。</p> <p>児童たちが楽しく利用。</p> <p>就業者が仕事の合間や夜間・休日に利用。</p> <p>退職者等が書齋替わりに快適に利用。</p> <p>育児世代が読み聞かせ等に利用。</p> <p>パソコン教室、情報活用講座に利用。</p>	
21	<p><b>インターネット時代に応える「電子図書館」構想</b></p> <p>次のような課題が提起されています。</p> <p>利用案内、イベント・講座などのネット発信。</p> <p>所蔵資料検索と貸出予約。</p> <p>新聞雑誌データベース、電子ブック。</p> <p>リサーチガイド、推薦資料リスト、リンク集。</p> <p>デジタル・コレクションと検索機能。</p> <p>メールによる資料相談。</p>	

	<p>コンピュータ端末、インターネット接続、ノートパソコン用電源とインターネット用接続ジャック。  (菅谷明子「未来をつくる図書館」参照)</p>	
22	<p><b>他の図書館との連携</b>  図書館ネットワークの形成も課題です。  町の議会図書館（政策資料室）との関係。  町の公文書資料館との関係。  町内の学校図書室との関係。  各地区のコミュニティ図書室との関係。  町外図書館とのリファレンス・サービス。</p>	
23	<p><b>図書館の広さについて</b>  どの案も2階建て870～960㎡となっていますが、町民が望む図書館ができるのか不安があります。  三春町民図書館に「三春町民図書館協議会委員と三春町民図書館ボランティア合同視察研修報告書」があります。これは、新しい図書館のイメージづくりと図書館サービスについての共通認識を深めるために、白河市立図書館、新地町図書館などの先進図書館を視察して、参加者が書いたレポートをまとめた報告書です。これを読むと、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書架を低くし、威圧感をなくすとともに職員の目が届くようにする。</li> <li>・ 書架間を広くし、ベビーカーや車椅子が通れるようにする。</li> <li>・ 授乳室、子供トイレ、子供のための椅子やテーブル、子供カウンターなど子供に配慮する。</li> <li>・ 職員、ボランティアの作業スペースを広く取る。</li> </ul>	<p>図書館の規模については、三春町と同規模（人口1万人以上2万人未満）の自治体の図書館面積の平均値を参考にするとともに、三春町民図書館の蔵書数を有効に開架運営していくために必要なスペースを積み上げた床面積で比較することで検討しています。</p> <p>また、現状の管理運営体制や図書室を備えている地区交流館との連携の強化を視野に入れながら、概ね1,000㎡を目安に今後検討して参ります。</p>

	<p>・閉架書庫とは別の資料保管庫は必要。</p> <p>など、新しい図書館に取り入れてほしい意見が書かれています。保健センターの調理室のように、使いにくい施設にならないように、十分検討してほしいと思います。</p>	
24	<p><b>食料・エネルギー地域自給と公共施設建設との関連</b></p> <p>未来を展望すると、食料・エネルギー地域自給（地域内経済循環）は、豊かな地域づくりと安心・安全の町民生活を実現するための基本戦略ではないでしょうか。</p>	ご意見として承ります。
25	<p><b>エネルギー自給の先駆的技術を、慎重に検討し、大胆に導入。</b></p> <p>エネルギー自給100%が目標です。</p> <p>地域資源エネルギー（水力・太陽熱・バイオマス）自給による冷暖房・空調施設。</p> <p>新しい蓄電・蓄熱施設。</p> <p>高レベルの省エネ建築構造。</p> <p>スマート（グリッド）コミュニティを想定して考慮しておくべき設備要件。</p>	
26	<p><b>公共施設整備を「歴史まちづくり計画」の一環に</b></p> <p>「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」にもとづく「歴史まちづくり計画」を策定し、そのなかに公共施設整備を位置づけ、可能な限り補助金対象事業に組み入れて、国の認定を受けます。まちづくりの新しい展開です。</p>	
27	<p><b>三春町の景観行政の継続性を確保できる専門家が計画作成に参画。</b></p> <p>景観感覚は百人百様ですから、景観重視といっても何も言ったことになり</p>	

	<p>ません。「三春らしさ」の継続性を崩さないため忘れてはならないことです。</p>	<p>で取組んできた大町地区の町並み景観との統一を図って参ります。</p>
28	<p>公共施設整備を、2階建・和風建築に統一し、駐車場を含めて、街並み形成に配慮して適正配置。各施設を、できるだけ廊下でむすぶ。</p> <p>福祉会館と同じように、傾斜地形に這わせるように配置します。ピロティ形式駐車場は反対です。</p> <p>自由民権広場を歴民館の上に移して、桜川を挟んで、両側に配置することを提案します。</p>	
29	<p>街路修景・桜川プロムナードの整備、背後傾斜面の植栽等を、建築設計と一体的に計画。</p> <p>百年余の歳月が形成した国際交流館対岸の雑木林・紅葉の美観が、庁舎で見えなくなるのは残念です。歴史を感じさせる美しい自然景観に囲まれた公共施設群といったイメージが、「三春らしさ」です。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
30	<p>具体的に中身が分からないのもっと詳しい説明がほしいです。</p>	
31	<p>三春らしい町並み景観の創出に対して賛成です。しかし、まほら、壺番館、役場前大通り両脇の建物など、統一性のない建物が並んでいる現状を踏まえると一概には賛成出来ません。</p>	
32	<p>2 検討対象公共施設の整備方針(案)について</p> <p>1 4番目の最後の部分「合理的な建物構造の検討を行い建設費の縮減を図る。」については、「建設費の縮減に努める。」で良いのでは。(木造、鉄骨、鉄筋コンクリートの単価比較は前回実施済)</p>	



	<p>3 役場庁舎の整備方針(案)について</p> <p>1 第5「町民交流・官民協働の場と しての多目的・・・」が一番大切で、新庁舎の目玉となる部分である。この敷地建坪では難しいのでは。(建坪2,860㎡は前回の案より小規模)</p> <p>2 第6の「歴史公園都市」としての 風格・・・の表現は分かりにくいのでは。</p> <p>3 第7の地場産材の・・・(地産地消、 地材地建の一部導入)は、「可能な限り積極的に取り入れる。」でどうでしょうか。</p> <p>4 町民図書館の整備方針(案)について</p> <p>1 前提条件の図書館の規模1階、 2階で概ね900㎡で良いのかどうか。(検討委員会等とのすり合わせは。)</p> <p>第6の「将来の新たなニーズ・・・」意図が分かりません。</p>	
33	<p>① 検討対象公共施設の整備方針(案) デザイン重視で意匠権など発生すると後々の修理修繕に特別な費用が掛かり維持するのが大変かと思われるので建設後のことも加味していただきたい。</p> <p>② 三春町役場庁舎の整備方針(案) 第1から第7まで大切なことと思います。そこに行くと役場機能、観光商工など一度に問題解決できるような場であるといいと思います。喫茶店コンビニなどくつろげる場所があってもいいですね。</p>	

	<p>③ 三春町民図書館の整備方針（案）</p> <p>第1から第6まで素晴らしいと思います。乳児から児童まで利用できる子供用の部屋が区切られて必要であると思います。（ベビーカーでの利用や床に本を広げての利用など、大人が椅子に座っての利用と同じではないので。できれば授乳室や子供用トイレも。）学校図書との連携、移動図書館のこと、図書館業務はそこに来てもらうだけではないと思われます。様々な面を考え、ゆとりあるスペース皆が利用しやすい構造、将来の三春町を担う人材を育てる場となる、充実した内容のものとしてほしい。</p> <p>箱を作るにしても中身をどうするかどうしたいか、幼稚園、小中学校、壮年老年アンケートをとり図書館への夢や希望を集約するのもよいと思います。</p>	
<p>単 独 案 と 複 合 案 に つ い て</p>	<p>34 原案4案のうち単独案（その1）に賛成したい。</p> <p><b>【理由】</b></p> <p>1 図書館の設置予定場所が、他の3案を観ると建設費（建設効率化）等の関係とは思慮されますが、新庁舎の隣接に計画がなされています。図書館の設置予定場所としての理想を主眼に考えた時、やはり本庁舎から離れた方が多面的に考えても環境が良いのではないかと考えます。私の推奨案による図書館の設置予定場所は、小学校の登り口（明德門）に位置し、静寂で極めて勉強のロケーションを備えた適地と考えます。</p> <p>② ①により新庁舎駐車場の空間も開放され（駐車台数も確保される）、また</p>	<p>公共施設の建設費や維持管理費の縮減は、財源確保の観点から必須の取り組みと考えており、施設の複合化は有効な手法と考えております。</p> <p>また、複合化による施設利用の相乗効果や補完効果が期待されるなど、下記の選定理由により、複合案を選定することとします。</p> <p style="text-align: center;"><b>記</b></p> <p><b>【選定理由】</b></p> <p>1 旧公民館跡は、現在の利用実態を考慮すると公共用駐車場として多くの方に利用されていることから、当面は駐車場として利用を続けることが望ましいと思われる。</p> <p>また、中心市街地におけるまとまった貴重な町有地であることから、現状</p>

	<p>新庁舎裏を流れる「桜川」の景観、「自由民権広場」、「歴史民俗資料館」等を外部来庁者にアピールできるのではと考えます。</p>	<p>を維持しながら将来の行政課題に対応するための土地利用を図るものとする。</p>
35	<p>単独案（その1）が良いと思われる。</p>	<p>2 複合案の広場は、天候に左右されない屋根付き広場であり、平常時には庁舎玄関前の来庁者用駐車場として利用することが出来ることから、現庁舎より利便性の向上が図られる。</p>
36	<p>1 複合案が優れているようですが、複合施設にする利点・理由が費用の縮減だけでは十分とは言えないのではないかと。</p> <p>2 図書館の計画面積が800㎡とか900㎡では狭いのではないかと。現在の図書館が約600㎡で満足な閲覧スペースもとれていないので、3割位の拡張では抜本的改善にはならないと思います。</p> <p>3 震災復旧のため庁舎の建替えが必要で期限もあるため、このような提案になるのは止むを得ないが、図書館は今後の在り方（理念）について議論・検討抜きに「箱」だけ（それも狭い）作るのはあまりに拙速ではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体の図書館は単なる貸し本業であってはならないと思います。</li> <li>・個人がその人格の形成、陶冶のため生涯に渡り使える場でなければなりません。</li> <li>・自治体のシンクタンクの機能を持つべきではないでしょうか。今後の町について、町民が集い、調査、研究、議論できる場を保障し手助けする専門職員とスペースを持った施設であるべきではないでしょうか。</li> </ul> <p>このような理念等についての合意形成には時間がかかるでしょうから、今できる具体案を上げます。</p> <p>イ 複合施設にするのであれば、入り口が共用広場といだけでなく議会と</p>	<p>また、直射日光に当たらず雨・雪も防ぐことができる半屋外空間であることから、バスの待合、イベント時のお祭り広場、災害時に防災広場として防災拠点機能の役割を果たせるなど、多様な用途に利活用が期待できる。</p> <p>3 複合案の広場2階は、賑わい・交流・憩いの場となる空間を創出するなど、様々な交流を促す共用テラスとして利活用が図れることから、町民に親しまれる庁舎及び図書館としての公共施設の整備が期待できる。</p> <p>4 配置比較検討図（4案）の概算事業費を比較すると、複合案（その1）は多目的ホールの兼用や階段の共有などによる延床面積の縮小が図れるとともに、設備機器の一体化により建設費の縮減が見込まれ最も安価である。</p> <p>また、設備機器の容量や個数が減少することによる基本料金やメンテナンス料金などランニングコストの縮減が図られることなどから、公共施設の維持管理コストの低減や施設総量の縮減を推進するための具体的な取り組みとして期待できる。</p> <p>ただし、選定した複合案は、基本設計の中で次の項目について更に検討し改良を加えるものとします。</p>

	<p>自由に行き来できるようにして議会図書館の機能を持たせることとしてはどうか。</p> <p>ロ 独立の公文書館を持つ余裕はないと思われるので、公文書館の機能も持たせてはどうか。</p>	<p>1 屋根付き広場としての利便性を高めるため、庁舎と図書館の間に設けた広場を拡大し、玄関前の駐車台数を現庁舎と同数程度（現状12台）にするなどデメリットを解消した改良案を基本設計において検討するものとする。</p>
37	<p>単独案（その1）が望ましいと思います。</p> <p>旧公民館跡地に図書館を建てて役場庁舎と離すことで敷地周辺にゆとりが出来て、気持ちに落ち着きが感じられるようになる。図書館はやすらぎや落ち着きが感じられることが大切だと思う。</p>	<p>2 庁舎と図書館の機能を寄せ集めただけの複合施設とするのではなく、施設全体の整備方針の設定、管理方法及び施設配置の工夫により、個々の機能以上の新たな価値を持つ公共施設の整備を検討するものとする。</p>
38	<p>三春町役場等の庁舎構造については、最も整備方針に近い複合案（1）が最適だと思います。ただ、駐車場から役場庁舎までの距離があるため、障害者や妊婦等の人々が専用で駐車できるスペースを役場入口付近に整備したり、駐車場から役場庁舎までの段差をなくすなど、ユニバーサルデザインに配慮した対応も必要かと感じます。</p>	
39	<p>単独案（その1）が良いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の図書館は、北側が入口になっていて、冬には足元が滑りやすく危険です。単独案（その1）であれば、南側に入口をつくるので、除雪が楽であり安心して利用できます。</li> <li>・図書館専用の駐車場があることは、重い本を運ぶことを考えればとても助かります。</li> <li>・三春交流館「まほら」には町民の居場所が少ないので、それを補う意味でも新しい図書館には談話をしたり、雑誌や本を読んだり学習したり自由に過ごすことができる</li> </ul>	

	<p>スペースが求められています。</p> <p>「まほら」と小学校の近くにある方が利用者には便利だと思います。</p> <p>・開館時間が異なる施設をつなげても利便性が向上するとは思えません。管理上からも大変ではないかと思います。</p>	
40	<p>町民の安全・安心を守る防災拠点・災害対策拠点として役場庁舎を最優先することが重要なので単独案（その1）が望ましいと思います。</p>	
41	<p>現在の図書館が車の音で落ち着いて本を読む事が出来ないという事を聞いておりますので、小学校下の敷地に単独案（その1）が良いと思います。</p> <p>庁舎はやはり駐車場が広く近くにあった方が何事があった時とか、いざという時のためには良いと思います。出来れば町民が気軽に入って楽しい交わりの時、くつろげる場所も小スペースでも良いからつくってほしいです。</p>	
42	<p>1 図書館は単独案（その1）で作ること。</p> <p>2 図書館は2階建てで、1階は読書等の利用スペースとし2階は図書類の整備室とする。</p> <p>3 1階の利用スペースには、お客様同士の話し会や喫茶スペースも併せて設置し利活用の推進を図る。</p> <p>4 本を通じたコミュニケーション作り、少子・高齢化社会の社交場として育てたい。</p> <p>5 「お出でよ」の精神で高齢化社会の</p>	

	場所作りの切り札として育てたい。	
43	<p>単独案（その1）が良いと思います。</p> <p>それぞれ一長一短あるが図書館が小学校に隣接していて交通事故等の対策について安心感がある。また役場庁舎の駐車場の場所及びスペースがあり一体感があると思います。</p>	
44	<p>図書館を庁舎2階に組入れた方が無駄がないと考えます。現庁舎跡地は駐車場にすべきと思います。</p>	
45	<p>図書館建物の位置は、次の理由から単独案（1）が望ましいと思います。</p> <p>1 キーワード：機能の充実の観点から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上部に学校があることから、学校と一体化することにより、気楽に立ち寄れる位置として望ましい。</li> </ul> <p>また、道を隔てての図書館は交通安全の面からも望ましくない。</p> <p>（学校帰りの立ち寄りにはダメなのかな、あらためて出直すとしても、学校に登校する雰囲気ですぐに利用しやすい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児・お年寄りが訪れやすいように、図書館のみに用事がある人だけの駐車場スペースをとれるような建物が望ましい。</li> </ul> <p>役場の駐車場のように車の行き来が多い場所は、危険性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul> <p>孫の生活圏の図書館では、本の貸出の際、緑の色のバックも貸し出ししている。子供たちが緑のバックに本を入れて出入りしている姿をみて生き生きしていると感じた。</p> <p>2 キーワード：誰もが気軽に利用でき、やすらぎや落ち着きの感じられ</p>	

	<p>る図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やすらぎ」や「落ち着き」が感じられる環境づくりをするならば、単独案のほうが、樹木を植えるとか目的に沿った環境づくりができる。</li> </ul> <p>孫が東京の新宿区に住んでいますが、公園に隣接した、落ち着いた環境でとても利用しやすいと感じました。</p> <p>そのような観点から、元中学校跡地を公園化し、隣接して図書館を建設すれば良いのですが・・・</p>	
46	<p>単独案その1に賛成です。</p>	
47	<p>① 検討の前提となる庁舎、図書館の面積の根拠が分かりません。特に、庁舎はどの部署までが新庁舎なのか。既存の施設（保健センター）と併用するのかどうか。また、図書館の面積が既存の図書館より小さいのでは。</p> <p>② 4つの案のメリット、デメリットからして、複合案（その2）が良いと思いますが、次の質問・意見があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役場庁舎と図書館の間の広場をもう少し広げる。駐車スペース2台を最低でも5・6台とすべきでは。</li> <li>・役場庁舎または、図書館1階駐車場に売店設置が出来ないかを検討すべきでは。</li> <li>・役場庁舎と図書館の間を、屋根だけでも繋ぐことがどうかを検討すべきでは。（共有スペースが活用できます。）</li> <li>・役場庁舎保管の資料・図書を図書館に保管できないかを検討すべきでは。</li> </ul>	



		<p>・県道から歴史民俗資料館等の景観が見えるかどうか。（見えるようにすべき。）</p>	
	48	単独案（その1）が良い。	
	49	<p>図書館面積は最低1,400㎡必要。 図書館と役場は独立していた方が いいので、単独案（その1）が良い。</p>	
	50	<p>単独案（その1）を希望します。 子供達の図書館利用頻度を考えた時 なるべく学校帰りに気軽に寄って本に 親しんで欲しい。できれば校庭から図 書館の上部に渡れるようにする。校庭 から図書館へ入り、1階出るだけでも 本に親しむ機会に恵まれる。道路を横 断する必要がないので、交通事故の危 険率も低下する。子供は三春町の宝で す。多くの本に出会ってたくましく 育て欲しいと思います。 役場に関しては、専門家の知恵を借 りて、人に優しい建物を建築してくだ さい。</p>	
駐 車 場 の 場 所 や 駐 車 台 数 に つ いて	51	駐車台数は80台分が確保されれば 良いと思われる。	<p>過去3年間における役場窓口来庁者 数の一日当たりの平均が40名程度であ ることから、滞留時間を考慮すれば、 どの案でも駐車場が不足することはな いと考えています。 また、コンビニ交付の普及に伴い役 場来庁者数は減少傾向にあると思われ ます。</p>
	52	駐車場のスペースは十分ではないか。	
	53	<p>通常は単独案（1）でも可能かと思 いますが、行事等がある場合はもっと 多く確保できればと思います。桜谷1 0台のスペースを広げることではできな いのでしょうか。 (土地をみてないので感覚的ですが)</p>	
	54	<p>各施設に駐車場を設けるのではなく 近隣公共施設と駐車場の共有をし、空 間を節約する方がよいです。役場付近 は三春町のあくまでも中心地であり、 他に有効活用できればその方がよいで す。</p>	
	55	大きな催しでもない限り、それぞれの 案で良いと思います。自由民権広場	



		上既存 50 台、22 台の案内をもっとすればよいと思います。	
	56	<p>① 三春小学校下の現駐車場は、まほらイベント、三春小学校行事、朝夕の送迎等で、かなりの頻度で利用されているので、駐車場として整備し利用すべきでは。</p> <p>② 春の桜の時期、まほら・役場等でのイベント時の駐車場確保、管理からして三春小学校下と現役場庁舎跡地を駐車場として活用すべきでは。</p> <p>③ 複合案（その 2）図書館 1 階駐車場の台数が少ないのでは。</p> <p>④ 図書館 1 階駐車場は、駐車台数の確保、降雨・降雪時に利用しやすい反面、夜間を含めた管理をどうするか。車両・時間制限等難しい課題もあるので管理が難しい。併せて、道路側の景観をどうするかも課題となる。</p>	<p>旧公民館跡は、現在の利用実態を考慮すると公共用駐車場として多くの方に利用されていることから、当面は駐車場として利用を続けることが望ましいと考えています。</p> <p>また、中心市街地におけるまとまった貴重な町有地であることから、現状を維持しながら将来の行政課題に対応するための土地利用を図って参ります。</p> <p>「図書館 1 階駐車場は、2 階の図書館の重量を支えるため、柱が大きくなり見通しが悪く薄暗くなることから危険であり不評である。」など視察研修先で受けた説明の結果を踏まえ、複合案（その 1）と複合案（その 2）の改良案を検討することとします。</p>
	57	現在、旧公民館跡地は役場周辺施設の駐車場として利用されていることから、三春小学校児童の送迎場所として利用されている現状がある。そのような中で旧公民館跡地に建物が建てば、路上に車を止めて乗り降りが増え危険度が増すのではないか。	
建物の構造について	58	鉄筋コンクリート造が良いと思われる。	構造については、地場産材の活用や町内業者の技術が発揮できるものにするとともに、建設費の縮減が図れるものを選定するため、ご意見等を踏まえ基本設計において詳細な検討を行い決定することとします。
	59	木造とまでは言わないが、出来るだけ木材を使用し地域の匠の技術を発揮する場の提供とすることを強く望みます。	
	60	庁舎、図書館とも町並みに合った外観にしてほしい。特に図書館については木造等で和の空間を造り、憩いの場所にもなるようなところにしてほしい。庁舎は機能重視で良いのではないか。	

61	<p><b>新しい集成材 CLT による木造建築。</b>      これからの公共施設の新しい方向でしょう。      (藻谷浩介「里山資本主義」参照)</p>	
62	<p><b>公共施設は、百年後の世代にまで残す地域資産。</b>      (カネをかけるべきところには、カネをかけること)      町民体育館・歴史民俗資料館・交流館「まほら」など、みな百年単位で構想・建設された公共施設です。      また、メンテナンス次第では、木造建築は、鉄筋コンクリート造り等よりも耐久性に優れています。</p>	
63	<p>地震、火災に強い鉄筋コンクリート造で作った方が良いと思います。</p>	
64	<p>キーワード：環境共生      ・省エネとしてエアサイクル（自然換気）の木造建築が健康にも良いし省エネにつながると思います。（夏涼しく、冬暖かい）</p>	
65	<p>城下町三春町の景観保護と地域性の観点から木造が望ましいと思います。既に三春町から城下町の面影は大きく薄れ、また他の市町村同様の都市開発によりその土地の風土と歴史にあった町並み、地域性はなくなり、金太郎館のような均一化された風景が見られます。庁舎とはその土地の政治の指針や価値観が表現される建物であり、歴史が経てばそれはその土地の顔になります。私はこれまでの三春町の景観保護は反省するべき点があると考え、今回計画される新庁舎建設において歴史ある三春町としての価値観を打ち出すべきだと考えております。建てられる新庁舎が将来建て替えられるのではなく、改修という形で町民に愛着を持た</p>	

		れ、政治参加をして欲しいと考えます。	
	66	<p>以下の理由から役場庁舎は木造が望ましく、併せて整備される図書館についても可能な限り木造とすべきと思います。木造が難しい場合は、木質化により木造風にすべきと考えます。</p> <p>① 公共施設整備方針の「町並み景観の創出」が可能なうえに、新たな三春町の景観を作ることが出来ます。</p> <p>② 人、自然に優しく、温もりがある建物となり、役場庁舎整備方針第3「高効率で省エネが図れる庁舎」も可能となります。</p> <p>③ 地元資源の木材が活用でき、地域活性化にも貢献できます。(県内産であれば可)</p> <p>④ 地元業者が参入しやすい。(新三春中学校、三春小学校大規模改修事業発注を参考にすべき。鉄筋、鉄骨では参入が限られてしまう。)</p>	
	67	鉄筋コンクリート造が良い。	
	68	長持ちするのであれば木造でも良いかと思います。	
その他	69	建て替えは良いと思うが、できれば別の場所を選定し新しい核造りでも良いのではないか。	<p>庁舎の建設地につきましては、平成23年11月に町民代表及び学識経験者等からなる「三春町公共施設整備方針検討委員会」で検討いただき、「立地場所の優位性」、「交通の利便性」、「整備費用」の視点からの評価及び三春町の市街地整備に係る「2核1軸構想」の考え方にに基づき、庁舎は町の最も中心的な施設であることを鑑み公共施設ゾーンに立地することが望ましいと判断され、「現役場庁舎」、「現役場駐車場」、「現役場庁舎裏町有地(自由民権運動広場)」の3ヶ所を具体的な建替候補地と選定し答申いただ</p>
	70	<p>役場庁舎建設は三春町100年の大計だと思いますが、前は道路、後は桜川との場所で細長い(蛇の寝どころ)の様な場所である。場所の再考の余地は無いとの事ですが思いきって郊外にと考えております。場所は深田和の一角で造成に大変な経費が掛かると思いますが庁舎、図書館、公民館、体育館何でも出来ます。</p>	

		<p>きました。</p> <p>建替候補地である上大町地区は、これまで行政・文化ゾーンと位置付け各種公共施設を集積し、中心市街地の機能低下を招かないよう整備を推進してきたことを踏まえ、各候補地に庁舎を建設した場合のメリット・デメリットを比較検討し、現役場駐車場を選定したものであります。</p>
71	<p><b>構想検討に十分な時間を掛けること。</b></p> <p>役場庁舎等は、今後百年以上に亘る三春町の在り様を決めることとなりますから、町民からも誇りと愛着を寄せられるような施設にしたいものです。</p> <p>そのためには、構想検討に時間を掛けすぎるといことはありません。百年後の町民の評価にも耐える立派な公共施設整備の実現を願っています。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
72	<p><b>町民・町職員・議員・専門家の意見を丹念に整理・検討し、それを記録に残すこと。</b></p> <p>「まほら大ホール」での提案発表・討論会の開催や、町民の先進事例調査助成事業の報告会の開催も企画してください。</p>	
73	<p><b>目先の問題だけを見るのではなく、今後の行政改革を展望して、構想を練ること。</b></p> <p>現時点では急進的と思われる改革でも、遠からず現実的な課題になるとすれば、それらを長期展望することが公共施設構想の基本的な前提条件です。</p> <p>提示された整備方針と設問からは、そのような改革ビジョンが伝わってきません。</p>	
74	<p><b>建築設計者を厳選して、構想検討段階から、しっかりと参画してもらうこと。</b></p>	

	<p>建築設計者の名前が後世まで残ることが、三春町の伝統になっています。</p>	
75	<p><b>議会改革への対応</b></p> <p>議会改革は避けて通れない課題です。今後の議会改革を想定して、柔軟な間取り構成にします。議会専用スペースは極力抑えます。</p>	
76	<p><b>議員定数削減（少数精鋭主義）。</b></p> <p>そのためには、大胆な選挙改革（一人一票二名連記制の導入など）が必要です。（木佐茂男「豊かさを生む地方自治」参照）</p>	
77	<p><b>委員会方式の解消。</b></p> <p>祭壇方式の本会議場と、本会議の儀式化を改め、議会審議はすべて全体会でおこないます。</p>	
78	<p><b>会期制の解消。</b></p> <p>現役層も議員になれるように、会議は原則として週一回・夜間開催とします。</p>	
79	<p><b>会議の公開。</b></p> <p>町民の傍聴席を確保し、会議日程は公表します。</p>	
80	<p><b>政策審議会は原則として議会所管。</b></p> <p>議会の政策形成機能の強化のためです。</p>	
81	<p><b>建築費は、資産と負債のバランス、及び中長期財政計画などを総合的に判断して決定。</b></p> <p>（「負債は赤字の借金」感覚ではなく、世代間の負担調整という視点もふくめて考える）</p> <p>負債残高だけをみて建築費を抑える単式簿記の感覚ではなく、複式簿記の企業会計方式による財務管理方式を採り入れるべきです。</p> <p>経常費は単年度会計、建設事業費は中長期会計（年度ローリング方式）に</p>	

	分離する管理方式の導入を望みます。	
82	<p>「安もの買いのゼニ失い」にならないように、適正な建築単価を設定。</p> <p>建築費は、機能面のレベル、耐用年数の長さ、メンテナンスのやり易さと節減、優れた景観の形成なども含めて、総合判断すべきです。</p>	
83	<p>設計・施工分離方式の採用。</p> <p>基本構想段階のこだわりを十分に設計内容に反映させるためにも、施工監理に万全を期すためにも、設計・施工コンペ・一体発注方式は困ります。</p>	
84	<p>有名な設計屋さんでなく、三春町に合った設計が出来る人であってほしい。</p>	
85	<p>① 今回は、町民・職員の安全確保のためにも庁舎は早急に建設すべきです。使い勝手、機能性等が最も大切ですが、この部分は毎日利用している職員が一番分かっているので、職員が積極的に関わるようにすべきです。</p> <p>② 役場庁舎は、贅沢な建物にすべきではないが、最低でも50年60年と利用し町民サービスの原点となる場所です。費用は割り切るべきであると思いますし、町民の理解は得られると思います。（世代間負担の考えも必要です。）</p>	